



未来を夢見て

2020/6/3 No. 14

オール・小野小学校で新学期のスタート

～821名の健やかな成長を願って～

入学式が終わってからの打合せで、雅子先生がお話ししてくださったように、分散登校初日の6月2日も小野小のチーム力の素晴らしさを感じた1日となりました。

最初に感心したのは全校の靴箱です。写真一番上は2年1組齋藤先生の学級の靴箱です。外靴がみんなきちんとかかとを揃えて靴箱に入っています。さすが小野小学校の子供たちです。

始業式に続いて、各学級で早速授業が始まりました。6年生の教室では1時間目から早速、国語、算数、理科などの教科の学習の内容に入って学習する姿が見られました。

また、上から2番目の写真は、午後、児童館へ行く1年生の子供たちの家庭科室での昼食風景です。みんな同じ方向を向いて静かにお弁当を食べています。ここでは、1年生が困らないように門田先生が優しい笑顔で子供たちを見守ってくださっています。

先週の登校日から小野小学校の職員の皆さんと一緒にいて気付くことは、しっかり全職員が連動して動いていること、そして、さりげなくいつも先生方が子供のそばにいることです。

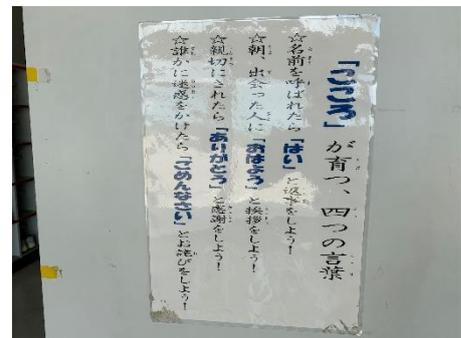
上から3番目の写真は、もみじヶ丘児童館の子供を引率して下さっている安達先生と元気先生。安達先生には、不在の先生の代わりに授業にも入っていただきました。また池山先生には、杜の丘児童館まで子供たちを迎えに行っていたいたり、麻衣先生には、1年生の集団下校の引率をしていただいたりと、担任の先生以外の先生方のサポートが非常に手厚いのが小野小学校の強みであるように感じました。

それにしても初日は暑い一日でした。ただ、小野小学校の先生方の子供たちへの温かい指導の様子をそばでみると、子供たちがたくさんの愛情で包まれて育っていることを実感し、清々しさを感じました。

さて、また昇降口。靴箱には「こころ」が育つ4つの言葉が掲示してあります。今日はたくさんの子供たちに挨拶をすることができました。はきものを揃えること、そして気持ちのよい挨拶をすることを、私も小野小学校の伝統として改めて大事にしていきたい、と思いました。

先日、PTAの佐藤会長さんが学校においでになり、今後のPTA活動について様々情報交換をさせていただきました。そんな中で、分散登校をしている期間、職員が連日登下校指導することに感謝の意を伝えられました。佐藤会長さんご自身も、子供たちの交通事故防止を喫緊の課題としてお考えで、何とかPTAでも、自発的に、できる範囲で、子供たちの登下校を見守ることができれば、という願いをお持ちでした。

始業式で子どもたちには伝えましたが、小野小学校の周りの交通量の多さは、仙台市の中心部の学校から異動してきた私にとってもかなりの驚きでした。教職員、地域の方々、保護者の皆様、みんなで子供の命を守るために何ができるか、絶対に子供を交通事故から守る、という決意で子供たちの安全、そして命を守りましょう。



(文責：手代木)